

令和4年2月28日（月）13：30～16：00  
第3回アルプス公園管理運営検討会議

【メーリングの意見集約について】

（質問者：村上） 資料5PのPRについて。(3)の部分。一番下の文章について、小鳥や植物の情報が必要ということだが、TOY BOXが今まで作ってくれたパンフレット春と秋バージョンには割と季節の花であるとか、桜や花の紹介などが掲載されたパンフレットがあった気がしたが、最近のパンフレットはどうなっているか。

（回答者：TOY BOX） 鳥とかは載ってはいる。公園のマップがメインになるので、そんなに大きくは表示されていない。

（質問者：小川原） 27Pのその他にある、公園来訪者の指標とあるが、これをもう少し具体的に説明なり明記したりしたほうが良いと思う。誤解を招いてしまうかもしれないので。

（回答者：事務局） 最終的に分かりやすい人数で表記するのが良いと思っているが、あくまでそこに特化してはいけないと思う。

（質問者：小川原） 私たちは資料を見ているので理解できるが、この資料の考え方が、利用者や一般に流れ「増加が目的ではない」という文言が出たときに、おや？と首をかしげるのではないかと感じた。

（回答者：事務局） 書き方を明確的にして、丁寧な書き方にして伝えたいと思う。

（質問者：高山） 私の書いた文章なので捕捉をしたい。大きな目標があってもそれを図るのは来訪者の数、一人だけではないので、あくまで公園の効果を図る指標のひとつとなる意味。その前に大きな目標、絶対的な計画がありそれを図るのにいろいろな指標があると思う。北側拡張部の利用が少ないので、来訪者を増やすというのが大きな目標だと思うが、それが目標になると本来の公園のあり方だとか、公園がどうあるべきかという大きなことがぼやけてしまうと思う。

（意見者：土田） そうような書き方に変えていただきたいと思う。

(質問者：土田) 必ずしも全ての意見をここに掲示しているわけではなく、割愛をしていると思うが、取捨選択している配慮というか、どういう形で選ばれているのか、それとも全部入っているのならそれで構わないが、どうなっているか。

(回答者：事務局) 5回のメールで多数の意見を頂いたが、その全てをなかなか書いても皆様にはわからないと思うので、ここに標記されているのは要約されたものになっている。今後来年度計画を立てていくのにこの意見は、そのまま引き継いでいきたいと思っている。今ここにある要約したものは「こういう意見がありました」という確認ができるものとして作った。確かに落ちているものもあるが、自分の意見がないではないかというものもあると思うが、最終的にはその部分も吟味していただいて、今後の計画に役立てていきたいと思う。

#### 【運営に関わる組織(案)について】

(質問者：村上) 30Pのところについて。指定管理者の役割の中にPR方法とあるが、指定管理者側に全て任せるという風にとれるが、そうするととても大変だと思う。土田先生の意見の中に広報まつもとなども利用するというのがあったが、私も広報を利用するというのは良いと思う。例えば、今だと博物館の月の計画や、行事とか、できるようになっているが、広報を手にとれる方に向けた行事を掲載するのはどうか。そうした時に全てを指定管理者がやるというのはとても大変だと思う。その中で個人がアルプス公園で何かをしたいという人、あるいは団体などもメディアを活用して欲しい。例えば市民タイムスや、信毎は依頼をすると無料でほとんど受けてくれる。そういうやり方もあるし、私は全てをこういうPR法にするのではなくて広い意味で皆さんのできるところは自分でやれるっていうところもあるし、広報は公園緑地課に出していただけるのかというのにも検討していただきたいと思う。

(回答者：事務局) ご意見ありがとうございます。指定管理として、窓口を一本化するというのが、今回の考え方であり、市の方で何もしないわけではありません。互いに知っておかなければ

ということで、ある程度一本化にした考えでやりたいと思っている。全て任せるといった形ではないですが、やり方に関しましても今後検討をしていきたいと思っています。

(質問者：高山)

28Pの組織図、基本的にこれでいいと思うが、例えば市民の皆さんと真ん中の団体、ここに線があってもいいと思う。市民が団体のベントに参加するというのはイメージである。メーリングの設定の中に、ボランティア団体の活動についてだとか、ボランティアの団体が存在する前提で答えていたが、この中でボランティア団体がどこに入るのかわからなかった。そういう言葉の整理が必要。メーリングの時もそうだが前提条件がはっきりしていないと答えづらい。この時はこうだけど、この時はこうなるというのが煩雑。これはこれで結構だが、今後定義が分かるようにしてほしい。もう一つ、北側拡張部の話だが、南側には山と自然の博物館や、小鳥と小動物の森があるなど立派な施設があるので、その連携をやっていくことが非常に大事だと思っている。これは文に載せなくても良いが、こういう考え方もあるということを入れておいて欲しい。

(回答者：事務局)

私も実際作っていて市民ボランティアは、本当はコーディネーターなのにと考えていたので、これから設定していきたいと思っている。またこの丸の案件の団体の部分でも基本的には各ボランティア団体という考え方でいる。また市民とのつながりがありましたけども、少し落としてしまった部分があるのでその辺は書き加えたいと思う。

(質問者：高山)

ボランティアの団体というのがあるが、それは新しくつくられるものなのか。既存もしくは新規のボランティア団体が公園に関わってくれるのでボランティア団体がこの(資料内にある)楕円形の部分になると思うが、連携の仕方や情報共有も含めて知りたい。

(回答者：事務局)

団体間の連携はいずれ必要になると思いますが、少し間口を広げて最初の内はどうなるかですが、そこも皆さんに検討していただきたいのですが、あらかじめ組織が出来ているのもどうなのかというところも皆さんの意見を聞きたいと思っている。

(質問者：土田) 団体と書いてあるが、個人の方がいいと思う。標記されている団体の部分に注釈をつけて、団体及び個人のボランティアと標記してみてはどうか。言葉としては団体とあるが注釈をつけてボランティアと分かるようにしてみてはどうか。実際個人で活動されている方もいると思うので、これだけで見ると個人の方は排除されていると思うので書いたほうがいいと思う。

(回答者：事務局) もちろん個人も視野に入れている。先ほど高山さんがおっしゃっていた新規のボランティア団体ではなくて、既存で活動されているボランティアの方たちの参加を考えているので、そういうことも含めてこの表は少し足りていないと思うので、注釈をつけて対応をしたいと思います。

(質問者：土田) 管理運営委員というくくりがありますが、管理運営委員会ではないのか。そういう名称は個人といいますか、委員という形であるのですか。

(回答者：事務局) 管理運営委員ではなく、コーディネーターと管理運営委員の会員の管理運営団体ということで作ってはどうかということ。

#### 【提言について】

(質問者：内田) 提言資料 2P のところ。組織と情報の所だが HP や SNS の情報発信を今後強化していくとあるが、現在のアルプス公園の情報発信すること自体周知できていないというのが私は課題だと思う。その項目自体があるということを TOY BOX さんだけでなく、市や各ボランティア団体の協力で周知していくのが大事ではないかと思う。また、HP についてもいざ開いても見やすさが欠けていると、情報にたどり着くのに時間がかかってしまうので、どこに情報があるのか閲覧者が瞬時にわかるようにして、見やすさというところも工夫するのが大事だと思う。

(回答者：事務局) ありがとうございます。情報発信の PR 方法については足りていないと思う。書き方としては見直すという形にしたいと思う。

(質問者：高山) 2点お願いします。1点目はメールでやり取りした記録が掲示されましたが、提言の資料として使われるのか、あるいは使われないのか。

(回答者：事務局) 提言は現状を洗い出す形で考えていて、この後の来年の計画の中に委員さんの意見を使いたいと考えている。

(質問者：高山) ありがとうございます。今回の提言では使わないということに理解をいたしました。問題点を洗い出すということが提言とおっしゃっていましたが今回の提言はそれでいいということか。

(回答者：事務局) 今回様々なご意見があって方向性について協議できていない。問題点の洗い出し等が今回の提言となる。

(質問者：高山) 理想を言っていると、当初計画があってそれに対して現状がこうあって、その中で評価があって、問題点がこうあるからその問題点を解決・改善するにはこうだという順番になると思うのだが、今回の委員会は問題点の洗い出しにとどめて改善案は提言しないということだが、今作成途中だと思うが、改善する事項と問題点等々と色々入り混じった書き方になっていると思うので、問題点だけ提示するのであれば問題点だけにとどめて、これから何をするのかを明記してしまうと後期にあまりよくないかと思う。

(発言者：部長) 私も思ったがこの資料を見て現状の洗い出しと、今後の課題について混じっている。課題に関してどうするかという方向性も少し含まれているという部分もあるので、事務局でいったん整理をして組み立てていくのか、それとも課題の整理をするのか、別のステップまでいくのかという形でもう一度整理をしてメール等で皆様に示したほうがいいと思う。

(回答者：事務局) 私どもも整理できていない状態で、粗素案で出してしまった。現地を見ていただく中での課題・問題点はもう洗い出しが出来ている。もちろん改善策も念頭に入れながら整理している。今後の提言書の最終作成に向けて改めて詰めさせていただく中でまたご意見を頂ければと思う。

(質問者：土田) 7P以降の各ゾーンの計画・現状課題について、例えば7Pの東入口駐車場。ここに計画・機能とあるが計画は東入口駐車場についてはこの計画という記され方だと思うが、その

前に整備方針があってその整備方針に基づいて、計画をするのだと、その整備方針を実現するための計画をこういう案として考えていただき、その余力で様々な機能が生まれてくるのだと思うが、当時の原案に加えてもいいと思う。整備方針という項目を設けていいと思う。例えば東入口駐車場の整備方針は緑陰駐車場にすると書いてあるので、それに基づいてこういう計画を立てられるので、現状と課題に関しては緑陰駐車場にするとという本文がないのですが、整備方針に基づいた計画があるのに、現状そういう整備がなされていない。私が挙げた意見がないが、私はそういう意見を申しあげた。例えば現状と課題に紋々を入れる。あくまで事例だけど元の整備方針に沿って現状はこういう感じになっているという認識でいないと不十分ではないかと。各ゾーンについても思う。今後の整備についても提案書を作る中で考えていただければと思う。各ゾーン全てに同じことが当てはまると思うので、元の整備方針が正しいか検討することも良いが、原点に戻って頭に入れながら、実際の現状を考えることも必要ではないかと思っている。

(回答者：事務局) 結構入り乱れた感じになってしまった、パワーポイント的に分かりやすく作ってしまった、高山さんが言うように回答精度の高さが一定ではないのでそこは整理したいと思う。整備方針に対して今どのような状況かというのを整理していきたいと思う。

(回答者：事務局) 補足する。土田先生からも整備方針として話があったが、提言書の作成・示す方向というのを具体的にどうするかというのがあると思う。経過ごとになっていて、例えば駐車場だと整備方針があって、計画に基づいて、現状はこうなっている、その課題についてはこう解決しました。という課題の整理の方向で行きたい。

(質問者：村上) 11Pの北入口広場について。現状・課題の中で、「ため池の復旧、清掃が必要」とあるが、もともとため池は田んぼを作るためのぬるめの水を作る場所だと聞いているが、例えば池の下に田んぼを復旧するとか、そのためにはため池の復旧だとか清掃が必要だと思うが、そうでなければ現状あそこには水生昆虫や、水性植物もあるのではっきりとた

め池の復旧とすることに私はどうかと思う。

(質問者：土田) 水田の復元についてのメールが中に入ったと思いますが、ここにはないですが、湿地をビオトープにするなどの意見もあり、いくつかの意見が全体を通してありましたがその辺の問題どうされますか。

(回答者：事務局) 様々な意見がありました。全て意見出来ればいいのだが、来年度に向けて方針が決まってない部分については、来年方針を決めて整備計画を立てていきたいと思う。花の丘についても様々な活用意見を頂きました、なるべく多くの意見を提言に入れたいと思う。

(質問者：土田) 森の入口広場についても結構意見が出ていて、展示室にしてはどうか、いろんな団体の集会や、待ち合わせ場所、話し合いの場所、とあるので肝心な部分は全て意見に入れてもらいたい。提言と意見の資料と見比べてもないものが多いので、反映をして頂きたい。今後それも含めて見直しをして頂けるということなのでお願いしたいと思う。

(回答者：事務局) 貴重なご意見いただきましてありがとうございます。方向性等の見直しもしながら会員の皆様に提示をしたいと思う。

(質問者：高山) 全体的は方針があって、それを今後どうしていくかという話になるのがいいと思う。第2回会議で小川原さんが言っていた「南側は遊び、北側は学び」という大きなくくりがいいと思う。それがないためこういう細かいものが増えてしまっている。最初に北側をどうするのが必要。前回の時に体験、学習、教育、癒し、健康、伝統とあったから北側はそういう方針にして、南側は従来の子供たちが安心して遊べる場所にしていき、それを受けてじゃあ北側をどうしていくのかということになると思う。それを頭の方針として、じゃあそれぞれの場所をどうするかということにしたほうが分かりやすいと思う。

(回答者：事務局) ありがとうございます。そのような流れで考えていきたいと思う。

(質問者：小川原) 当初の市長のあいさつがあった時に「賑わい」という言葉がありました。これをどこかに入れて欲しいと思う。

(回答者：事務局) ご意見ありがとうございます。そのように提言書に入れ

たいと思う。

(質問者：土田) 言葉として「市民参加型の自然活用」というのを今後表に  
出すことはあるか。キャッチフレーズとしてどうか。

(回答者：事務局) 今まで平成11年の計画を基にしてきたが、整備もそれを  
基に行ってきたが、再整備した後の管理・運営というのは市民  
参加型ではなかったの、新たにそういったワードを入れるのも  
考えたい。今まで行ってきたものは変えずに、活動を明確にし  
ていかないといけないので入れたいと思う。

(質問者：小川原) 資料のどこかに東入口駐車場について記載があつたが、  
東入口駐車場を一般の人たちが休憩所として使っているが、  
様々な工事車両の方たちがお昼休憩として利用をしている。  
エンジンかけっぱなしで利用もしている。そういった利用者  
以外の人たちを締め出すという、考え方は私にはありません。  
せっかく市の駐車場としてあるし、空いていれば利用するの  
は良いと思う。今回の公園整備の中で、東入口駐車場は、  
あくまで公園利用者の駐車場であるということを、整備の中  
で一言入れておけば、トラブルが発生した時にも説明が  
できると思う。駐車場の整備の中で現在そういった紋々の  
入った看板があるのか。立地条件もいいし、飲料水も飲める  
ので、そういう標記があってもいいと思う。

(回答者：事務局) アルプス公園に限らず、他の公園も公園利用者が  
できない状況がある。そういう文面があれば注意ができるので、  
ぜひ参考にさせていただきたいと思う。

(質問者：高山) 自然観察の森についてですが、一部の利用者のみになっ  
ている。広場があるそこが自然観察の森となっていると思  
うが、北側拡張部全てが自然観察の森となっている。本当は  
そういうイメージだと思う。当初計画を見ると、そういうよ  
うな標記になっているが、自然観察の森が北側拡張部全て  
そうだという認識でいいと思う。当初計画の中に「人と自然  
の共生を目指す里山の再生」とあるが、樹林の管理、ニセア  
カシア等あるが、全部とは言わないが里山の再生のために  
少し残してやるのもいいと思う。自然の残った自然観察の  
森になると思う。

(回答者：事務局) 北側拡張部は里山にするにあたり雑木林は公園ではないと、当初の考え方があり、里山整備の公園という認識である。今計画で色々あったが、里山を戻すというのが大前提だと思っている。

(意見者：内田) 委員の皆さんの意見を聞いて思ったのですが、全ての提案内容や語句について、前提や定義というのが抜けている。人によってとらえ方が変わるような語句の使い方だったり、伝え方だったりについて自分は気になった。提言資料をこれから作っていただく中でそこを考慮していただきたい。

(意見者：土田) 先程あった里山の話も、注釈をつけて里山は何かという説明があってもいいと私も思う。